交通安全の意識を持とう
昨年は市内の交通事故で5人が死亡

市内の交通事故の発生件数は、平成20年に大幅に減少し、近年は横ばい状態が続いていました。しかし、24年には、発生件数が増加。交通事故死者数は合併後最大となり、5人の尊い命が失われてしまいました。一人一人が、交通安全の意識を持ち、交通事故防止に努めていきましょう。

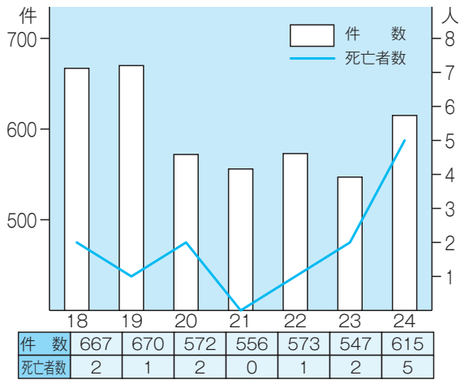
交通事故は私たちの一生を一瞬で台無しにします（1月30日、東北自動車道）
【内容を一部修正しています】

21年中は交通事故死ゼロ

初めに、合併後の年間の交通事故発生件数と交通事故死亡者数を図1に示します。これを見ると、年間の交通事故発生件数は、平成18、19年には600件を越えていましたが、20年から23年までは、600件を下回りました。

これは、市と関係機関・団体が協力して、地道な交通安全啓発活動を続けた成果だと推測されます。

図1　市の交通事故発生件数と交通事故死亡者数



	18	19	20	21	22	23	24
件　数	667	670	572	556	573	547	615
死亡者数	2	1	2	0	1	2	5

次に、交通事故死亡者数を見てみると、年間1、2人で推移していましたが、21年には「年間交通事故死者ゼロ」を達成することができました。

交通事故の犠牲者が増加

しかし、24年は、件数、死亡者数ともに大幅に増加しました。24年5月に交通死亡事故が発生してから、同年11月までの間に、5件の交通事故で5人が犠牲となり、25年1月にも1人の尊い命が失われました。

この6件の交通死亡事故の状況は、表1に示すとおりです。その状況から、次のような特徴がみられました。

❶すべて単独事故で、運転者が犠牲となっている。
❷半数が70歳以上の高齢者の事故である。
❸道路外へ逸脱する事故が多い。
❹交通量が少ない道路での事故が多い。

チラシの配布などを通じ、交通事故防止を呼び掛けています（24年12月4日、ホーマック西根店前）

これは、市内の交通死亡事故の特徴ですが、事故全体に占める高齢者事故の割合が高いことは、県内の他市町村でも同様です。

また、県の24年中の交通事故死者数は83人（前年比17人の増加）で、増加数・増加率ともに全国ワースト2位でした。

啓発活動の強化に取り組む

市内で9ヵ月の内に6件の交通死亡事故が発生した事態を受け、関係機関・団体では、2月4日に西根地区市民センターで緊急対策会議を開きました。

会議では、これまで行ってきた街頭での啓発活動、巡回パトロール、交通安全教室の実施、高齢者宅の訪問活動、市内全世帯へのチラシの配布などに加え、さらなる啓発活動の強化に取り組んでいくことを確認しました。

一人一人の心掛けが大事

交通事故を防止するためには、関係機関・団体の活動だけに頼るのではなく、市民の皆さん一人一人の注意と心掛けが重要です。

自動車などの運転者は、速度の出し過ぎを控え、車間距離を十分に取って走行することを心掛けてください。

また、歩行者や自転車の利用者は、通行車両に十分注意するとともに、夜光反射材を着用するなどし、運転者に自分の存在をアピールすることで事故を未然に防ぎましょう。

詳しくは、市役所市民課地域安全係（内線1122）まで。

交通安全教室で子どもたちに車に気を付けようと指導（24年4月16日、寄木小学校）

表1　平成24年5月から25年1月までに発生した交通死亡事故一覧

日時	平成24年5月26日㈯、午後4時
場所	田山地内
死者	男性（72歳）【運転者】
状況	T字路直進、路外逸脱し、川に転落（車両単独）

日時	8月6日㈪、午前中
場所	西根寺田地内
死者	男性（77歳）【運転者】
状況	路外逸脱し、水路に転落（自転車単独）

日時	9月18日㈫、午後3時25分
場所	佐比内地内
死者	男性（46歳）【運転者】　※県外出身者
状況	路上で転倒（普通自動二輪単独）

日時	10月19日㈮、午前8時25分
場所	松尾寄木地内
死者	女性（39歳）【運転者】
状況	路外逸脱し、電柱に衝突（車両単独）

日時	11月24日㈯、午前0時
場所	堀切地内
死者	男性（39歳）【運転者】
状況	路外逸脱し、横転、車両炎上（車両単独）

日時	平成25年1月27日㈰、午後0時15分
場所	大更地内
死者	男性（70歳）【運転者】
状況	路外逸脱し、転覆（トラクター単独）

もし、交通事故に遭ってしまったら

交通安全に気を付けていても、事故に遭ってしまった場合は、次のように対応しましょう。

❶負傷者の応急手当を行い、119番に電話をしてください。
❷事故現場の安全を確保し、第2の事故が起こらないようにしてください。
❸小さな事故でも警察に届け出るようにしてください。